



2022年11月11日

各 位

上場会社名 CKD株式会社  
 代表者 代表取締役社長 奥岡 克仁  
 (コード番号 6407 東証プライム、名証プレミア)  
 問合せ先責任者 経理部長 竹澤 正  
 (TEL 0568-74-1006)

## 第2四半期連結累計期間の業績予想と実績との差異、通期連結業績予想の修正、 剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

2022年5月13日に公表しました第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値の差異及び通期連結業績予想の修正につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

また、2022年11月11日開催の取締役会において、2022年9月30日を基準日とする剰余金の配当及び期末配当予想の修正を決議いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 第2四半期連結累計期間業績予想と実績との差異について

##### (1) 2023年3月期第2四半期連結累計期間業績予想と実績との差異（2022年4月1日～2022年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想（A） （2022年5月13日発表）	百万円 72,500	百万円 9,210	百万円 9,210	百万円 6,490	円 銭 97.38
今回実績（B）	80,213	10,175	10,222	7,039	105.56
増減額（B－A）	7,713	965	1,012	549	—
増減率（％）	10.6	10.5	11.0	8.5	—
（ご参考）前期第2四半期実績 （2022年3月期第2四半期）	67,812	8,582	8,667	6,081	91.26

##### (2) 差異の理由

当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、当初公表予想を上回ることができました。これは、主に機器部門における売上高が予想を上回ったことによるものであります。国内市場においては、データセンターや車載向けに堅調な半導体需要を背景に、半導体製造装置向けの売上高が予想を上回りました。また、海外市場においては、ロックダウンからの正常化に向けた動きがみられた中国、半導体設備投資が堅調であった韓国や台湾で売上高が増加したことに加え、当初予想に比して円安が進行したことから、売上高が予想を上回りました。

#### 2. 業績予想の修正について

##### (1) 2023年3月期通期連結業績予想の修正（2022年4月1日～2023年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A） （2022年5月13日発表）	百万円 146,000	百万円 18,500	百万円 18,500	百万円 13,000	円 銭 195.07
今回発表予想（B）	160,000	20,500	20,550	14,000	209.94
増減額（B－A）	14,000	2,000	2,050	1,000	—
増減率（％）	9.6	10.8	11.1	7.7	—
（ご参考）前期実績 （2022年3月期）	142,199	17,879	18,043	12,567	188.58

## (2) 修正の理由

世界経済の見通しは、部品不足や原材料高騰などのサプライチェーンリスクに加え、米中間の貿易摩擦が及ぼす影響、さらに地政学的リスクや為替変動が及ぼす影響など、引き続き下振れリスクが高く、予断を許さない情勢が続いております。

そのような中、当社グループを取り巻く事業環境は、中長期で成長が見込まれる製造業の自動化・省人化需要、半導体設備投資といった電子産業における投資、自動車の電動化に向けた需要等により、国内及び海外において足元の受注は堅調に推移していることから、2022年5月13日に発表いたしました通期連結業績予想を下記のとおり上方修正いたします。

なお、2022年10月1日から2023年3月31日までの期間における為替レートは、第1四半期決算発表時点から見直し、1米ドル120円から140円といたします。

## 3. 剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正

### (1) 配当の内容（中間配当）

	決定額	直近の配当予想 (2022年5月13日公表)	前期実績 (2022年3月期中間)
基準日	2022年9月30日	同左	2021年9月30日
1株当たり配当金	42円00銭	39円00銭	28円00銭
配当金の総額	2,801百万円	—	1,866百万円
効力発生日	2022年12月12日	—	2021年12月13日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

### (2) 配当予想の内容（期末）

	1株当たり配当金（円）		
	第2四半期末	期 末	合 計
前回予想	—	39円00銭	78円00銭
今回修正予想	—	42円00銭	84円00銭
当期実績	42円00銭	—	—
前期実績 (2022年3月期)	28円00銭	39円00銭	67円00銭

### (3) 剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正理由

当社は、株主の皆様への利益還元につきましては、経営基盤の充実と更なる事業拡大のための設備投資や研究開発投資等を実施することにより、企業価値の向上を図るとともに、株主還元については配当性向40%を目安としております。

上記方針及び当第2四半期連結累計期間の業績を踏まえ、第2四半期末配当については直近予想から1株当たり3円増配の42円とさせていただきます。なお、期末配当予想についても、直近予想から1株当たり3円増配の42円とさせていただきますことをご予定しております。

(注) 上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値とは異なる可能性があります。

以 上